

脱出用ハンマーの自動車への備え付けの推奨について

本年 8 月に発生した千葉県などの豪雨では、自動車の浸水により車室内の方が亡くなる事故が発生しました。国土交通省では、これまでも自動車浸水時の脱出用ハンマーの備え付け等について 啓発されて来ましたが、近年の豪雨による被害の発生状況を踏まえ、自動車ユーザーへの普及啓発のさらなる推進をお願いします。

記

1. 自動車の販売の機会を捉え、脱出用ハンマーをオプション等として自動車ユーザーに対して説明をお願いします。その際、正しい使用方法についても説明をお願いします。
2. 車検・整備の機会を捉え、別紙及び以下 URL の国土交通省 YouTube 動画を活用するなどにより、自動車ユーザーに対して脱出用ハンマーの備え付けに係る情報提供をお願いします。

国土交通省 YouTube「豪雨に備えて、車に脱出用ハンマーを備えましょう！」



<https://renrakuda.mlit.go.jp/renrakuda/carsafety040.html>

3. 自動車用品の販売の機会を捉え、脱出用ハンマーを自動車ユーザーの目につきやすいところに展示するなど、脱出用ハンマーの備え付けに係る情報提供をお願いします。

レベル5大雨特別警報 が 発表されたときにとるべき行動

すでに安全な避難ができず、
命が危険な状況です
むやみに移動せず
今いる場所よりも**安全な場所へ**移動して
身の安全を確保しましょう



浸水した場所での車移動は危険！

立ち往生し水没するおそれがあります。
むやみに移動せずに**安全な場所**で状況が落ち着くまで待機しましょう。



河川・用水路・冠水した箇所へ 絶対に近づかない！

特に**地下施設**や**アンダーパス**、**低地**は短時間で
浸水する危険があります。

⚠ 浸水深**30cm以上**となる低地は要注意



市町村が発令する**警戒レベル4 避難指示**までに 必ず避難しましょう！



レベル5大雨特別警報が発表される前段階から 最新の気象・避難情報を確認！

テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、防災行政無線等で
最新の情報を確認してください！



浸水リスクを確認しましょう！

ご自身のいる場所が、**河川の氾濫**や**内水氾濫**による浸水リスクがないか、
自治体が公表している**ハザードマップ**や**防災情報**を確認しましょう。

レベル5大雨特別警報

が発表されたときの車運転の注意点

浸水が懸念されるときは
車での移動を控えてください！
冠水した道路への進入は
命に関わる危険があります
安全を最優先に行動しましょう！

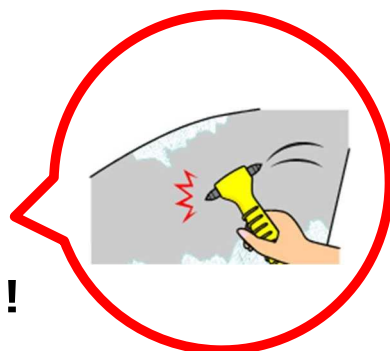


車はわずか**30cm程度**の浸水でも**走行不能**になる場合があります



エンジン停止や水圧で
窓やドアが**開かなくなります**

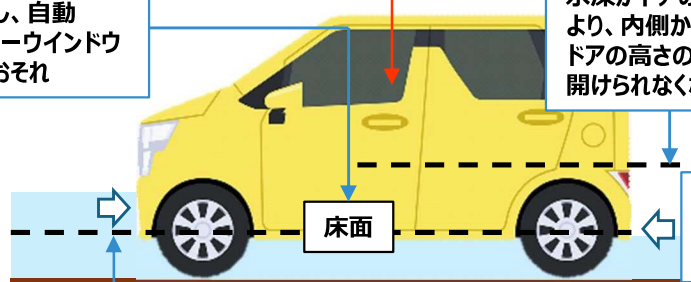
万が一、ドアが開かなくなった場合の備えとして、
脱出用ハンマーをすぐに使える位置に！



水深が床面を超えると、
電気装置が損傷し、自動
スライドドアやパワーウィンドウ
が動作しなくなるおそれ

脱出用ハンマーで割れる
(合わせガラスは割れない)

水深がドアの下端にかかると、車外の水圧に
より、内側からドアを開けることが困難となり、
ドアの高さの半分を超えると、内側からほぼ
開けられなくなるおそれ



吸気口から浸水するとエンジンが
停止し、再始動しなくなるおそれ
(速度が大きいと浸水しやすくなる)

水流がある場合、
車両が流されるおそれ

タイヤが完全に水没すると、
車体が浮いて移動が困難になるおそれ

徒歩または**早めの避難**を心がけ、

やむを得ず車を使う場合は**冠水した道路を避けてください**